竹田市立南部幼稚園　10月中旬（10月11日～18日）「運動会ごっこ」

【ねらい】友だちと一緒にいろいろな競技をする中で，自分の力を出すだけでなく、友だちと考えを出し合い，工夫したり協力したりして遊ぶ楽しさを味わう。

【内　容】・友だちと一緒に競技やリズム，応援合戦などに楽しんで取り組む
・プログラムの内容やルールを決め，みんなで『幼稚園の運動会』を創り上げる

【遊びのプロセス】　＊遊びの中で育まれている資質・能力を下のように表している

知識・技能の基礎　知識・技能の基礎　　思考力・判断力・表現力等の基礎　　学びに向かう力・人間性等

小学生と合同の運動会を経験し，小学生の姿を見ていろいろな競技への興味・関心が高まっている子どもたち。教師が玉入れや綱引きなどの道具を出しておくと，自分たちで準備したり片付けたりして毎日楽しんでいる。また、小学生の全校リズム「ソーラン節」に憧れ，友だちどうしで教え合い夢中になって踊る姿も見られる。
そのうち，「幼稚園でも運動会をしたい！」という意見が出て，『幼稚園の運動会』をすることになった。

1～2日目

興味・関心をもつ

みんなでやりたものを出し合い，話し合って，準備体操・応援合戦・かけっこ・玉入れ・リズム（2つ）・リレー・大玉転がし・綱引き・台風の目・運命競争をすることを決め，プログラムと得点版を作った。

イメージをもつ

3～6日目

例：運命競争の準備をする

考える，思いや考えを伝え合う，イメージを共有する

願いをもつ

カードをひくやつ，やりたい！

カードに，することを書く！

でも，わからない字がある・・・

T　みんながわかるには，どうしたらいいかな？

絵をかいたらわかるんじゃない？

それいいね！

共感する

考えを伝え合う

カードの内容を決める

気付く

考えを伝え合う

三輪車が無いから，代わりにスクーターを使えばいい！

フープを使うのはどう？

工夫する

でも，まだ回せない人もいるよ

でも，できるかな？

なわとびもしたい！

サッカーボール，3つも持てるかな？

試す

できるか，やってみよう！

試す

カードの内容をやってみる

振り返る・見通しをもつ

スクーター，できたよ

フープは，先生を呼んできて一緒に入ればいい！

考える

なわとびをしたいけど，まだできない人もいるからどうしよう・・・

サッカーボール，2つなら持てたよ

考えを伝え合う

それならみんなできるね！

T　回してピョンでもいいと思うよ。心配な人は手伝うこともできるよ。

繰り返す

共感する

例：玉入れの準備をする

玉入れをやってみる

やってみる

チームの友達が少ないから負けたんや！同じ数にしないと！

気付く

T　1人多いね。どうしようか？

T　どうやって決めようか？

綱引きみたいに審判をすればいい

やりたい人でじゃんけんしよう！

何回も審判するのずるい！

T　みんな審判したいよね？どうする？

1回した人はがまんする

わかった！

気付く

玉が網に全部入った方を勝ちにする方法でやってみる

振り返る・見通しをもつ

負けたのが分かるから，おもしろくない

T　小学生はどうしていたかな？

笛が鳴ったらやめて，数が多い方を勝ちにしたらいいんじゃない？

それいいね！やってみよう！

共感する

網に入った玉の数が多い方を勝ちにする方法でやってみる

試す

こっちの方がおもしろい！

連日，運動会ごっこを楽しむ中で，子どもたちは自分たちで話し合って赤白の人数をそろえたり，ルールを決めたりして遊びを進めていった。また，友達と協力して道具の準備や片づけをしたりする姿も見られた。
『幼稚園の運動会』当日は，夢中になることで勝敗にこだわり，いざこざが起きたが，「次頑張ればいいよ！」など自分たちで声を掛け合って折り合いをつけようとする姿も見られた。全員が思いっきり体を動かして楽しみ，赤白どちらも優勝（引き分け）となり、満足した表情を見せていた。特に，運命競争は時間をかけて話し合ったので，とても盛り上がり，『幼稚園の運動会』終了後も，くり返し楽しんでいた。

□環境の構成・ **◇援助のポイント**	□子どもの「やってみたい」という思いが実現できるように，道具を準備し，使いたい時に自分たちで出して遊べるように配置する。 □子どもたちが考えを出し合い，じっくりと話し合えるような場や時間を設定する。 ◇共通の目的を意識して遊びをすすめられるように，タイミングを見て振り返りの場をもち，思いや困りを出し合い，みんなで共有したり，相談したりするように促す。 ◇友達の姿や思いも意識して遊びをすすめられるように，振り返りや話し合いの場では，自分の思いを出すだけでなく友達の話を聞くように促す。 ◇困りの場面では，子どもの思いに共感し周りに広げるとともに，「どうしたらいいか」を一緒に考えるようにして，自分たちで遊びのルールを決めるように促す。

【本活動・遊びで着目したい「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」】

健康な心と体

言葉による伝え合い

協同性

友達と一緒に運動会ごっこをする中で，互いの思いや考えを共有し，みんなで楽しく遊ぶための競技内容やルールを考えたり工夫したりするとともに，友達と協力して遊びをすすめることの楽しさを感じ，自分たちで『幼稚園の運動会』をつくりあげたという達成感を味わっている。

道徳性・規範意識の芽生え

みんなで楽しく遊ぶためには，互いに思いや考えを出し合うだけでなく，友達のことを考えて競技内容やルールを工夫することが必要だと実感している。さらに，より遊びを楽しくするために自分の気持ちを調整して折り合いをつけながらルールを作ったり守ったりするようになることで充実感を味わい，協同性が高まることにもつながっている。

数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚

【小学校以降へつながる資質・能力】

《知識・技能の基礎》	《思考力・判断力・表現力の基礎》	《学びに向かう力・人間性等》
・体を十分に動かす ・互いの思いや考えなどを共有する ・必要なルールを作ったり，守ったりする ・文字や数の必要性に気付き，使う	・共通の目的の実現に向けて，考えたり，工夫したり，協力したりする ・相手にわかるように伝え合いながら話し合い，力を合わせて問題を解決する	・充実感をもってやり遂げる ・自分の気持ちを調整し，友達と折り合いを付ける